

堤防植生フィールド試験募集要領

1. 背景・目的

関東地方整備局では約2,000kmの堤防を管理していますが、堤防には洪水や降雨で崩れないように植生が施されています。また、堤防の強度を維持するとともに亀裂の発生など堤防の異常を発見しやすくするため、定期的に堤防の除草を行っています。この堤防除草にともない発生する刈草の処分にあたり、酪農家等に無償提供するなどコスト縮減に努めていますが、近年の財政事情により更なるコスト縮減が求められています。

このようなことから、実際の河川堤防で植生のフィールド試験を行うことにより、民間企業等における植生の新たな技術開発の促進とコスト縮減を図った堤防植生と管理のあり方の検討に資することを目的としています。

2. 試験実施箇所

①茨城県五霞町山王地先(利根川右岸120km付近)

対象工事 H20山王堤防強化(その2)工事(工期 平成22年3月下旬)
フィールド延長 川裏100m
法長 約35m
法勾配 1:7
堤防土質 粘性土(一部改良土)
担当事務所 利根川上流河川事務所

②埼玉県吉川市深井新田地先(江戸川右岸35km付近)

対象工事 H20深井新田地区堤防整備工事(工期 平成22年3月下旬)
フィールド延長 川裏60m
法長 約60m
法勾配 1:7
堤防土質 砂質土
担当事務所 江戸川河川事務所

※応募に当たっては、現地の状況を良くご確認ください。

※希望する河川を明記して下さい。(両方行いたい場合は、その旨を記載)

試験フィールドは利根川は1ブロック25m、江戸川は1ブロック15mとします。希望する必要ブロック数を明記してください。(例 2ブロック=50m希望)

但し、応募者数により、必ずしも希望通りにならない場合がありますので、予めご了承下さい。

3. 試験植生実施時期

平成22年4月上旬(各工事完了後)~5月下旬(出水期まで)

4. 試験期間

植生実施後3年間を予定。

5. 募集期間

平成21年10月13日～平成21年12月15日

6. 募集要件

- ①自らで所有（開発）している製品又は工法とします。
- ②応募するに当たっては、以下の条件を満足するものとします。
 - ・堤防の法面の保護機能を有するもの
 - ・植生による堤体への悪影響がないもの
 - ・周辺環境に影響を及ぼさないもの※原則として、抑制剤等の薬品の使用は認めません。
- ③施工及び管理（3年間）の費用は応募者が負担して下さい。
- ④期間中のモニタリングは応募者で実施して下さい。
なお、モニタリングは以下の項目を想定しています。
 - ・植生の草丈等育成状況（必須）
 - ・根毛量及び根の深さ（必須）
 - ・降雨時の状況（必須）
 - ・その他、応募者の必要な調査（自由）
- ⑤別途、担当事務所と協議の上、事務所長と覚書を締結していただきます。
（別添 覚書（案）参照）

7. 応募要領

別紙申し込み書を作成の上、担当者へ提出して下さい。
（郵送又は電子メール）

8. その他

応募頂いたものについては、審査（場合によってはヒアリング）を行った上で採用・不採用を決定し、応募者へ通知します。（平成21年12月下旬予定）

問い合わせ及び応募先

関東地方整備局河川部河川管理課 太田、近藤
住 所 〒330-9724
埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
さいたま新都心合同庁舎2号館16階
電 話 048-600-1338
メール kasenkanri-ij@ktr.mlit.go.jp

「ピオ・セル・ショット工法によるチガヤ苗吹付工」施工記録



利根川フィールド全景(2010.4.5撮影) 全ブロック未着手



法面(吹付け前)の状況



吹付工 着手前

苗吹付工 施工の流れ



セルトレイからチガヤ苗取出し



植物苗と基盤材等の混合攪拌作業



苗吹付け作業



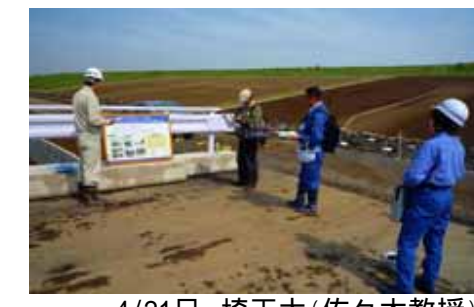
日本シバの裁断



関係者による見学



4/20日 国土交通省、五霞町、五霞土地改良区の見学(15名)



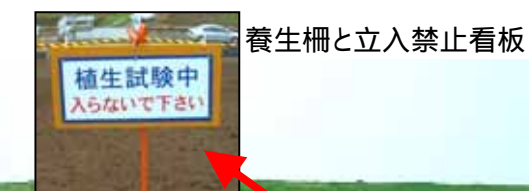
4/21日 埼玉大(佐々木教授)、国土交通省の見学(3名)



吹付け面の状況



吹付け完了直後



養生柵と立入禁止看板



看板類等の設置



試験看板

「ピオ・セル・ショット工法によるチガヤ苗吹付工」施工完了(2010.4.21撮影)

